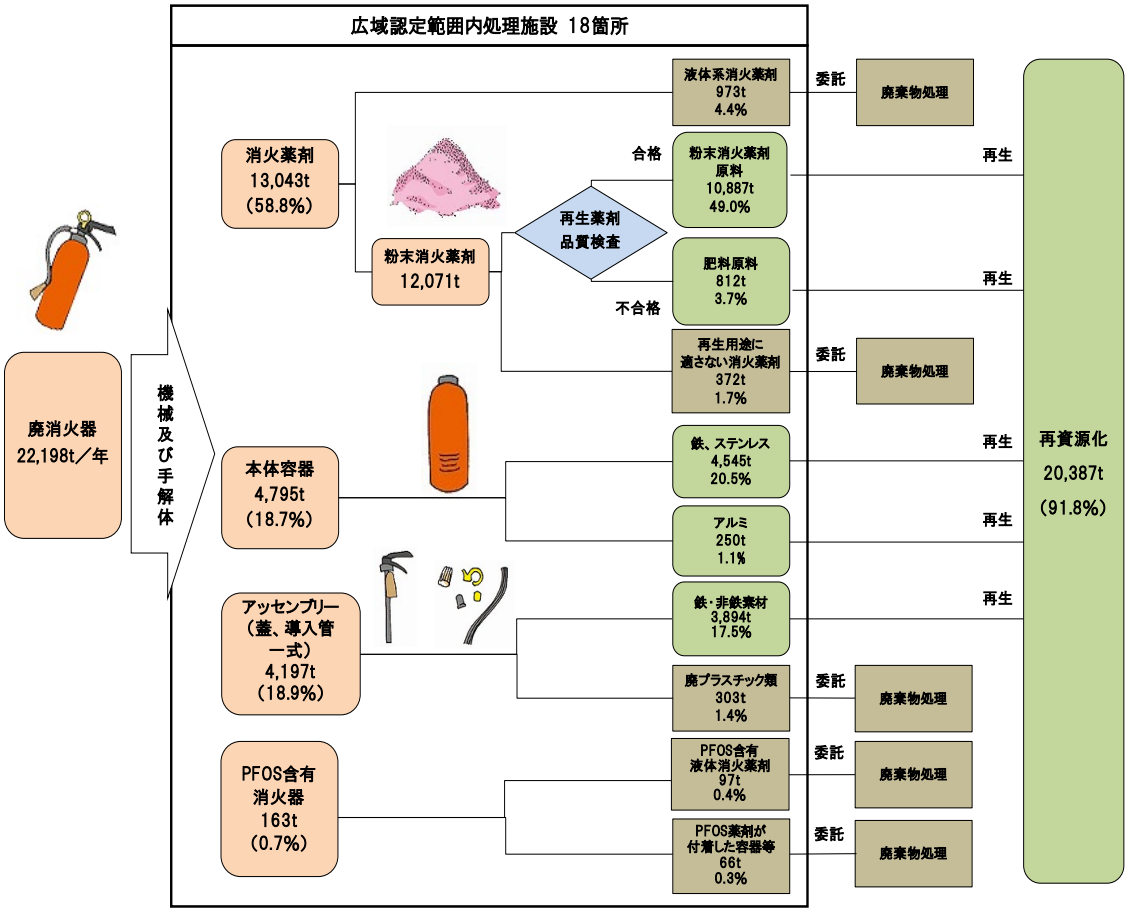
廃消火器リサイクルシステムのマテリアルフローとリサイクル率の推移

当リサイクルシステムにおける 2020 年度のマテリアルフローは以下のとおりである。



マテリアルフロー（2020 年度）

(注)内訳個別の数値･割合は単位未満を四捨五入しているため、内訳の合算値と合計値とは一致しないことがあります。

当リサイクルシステムで回収された廃消火器は、中間処理施設で解体処理を行い、消火薬剤・容器・アッセンブリーに分別することで、資源の有効利用を進めており、2020 年度の再資源化率（広域認定内）は 91.8%であった。2018 年度（90.6%）、2019 年度（90.8%）と微増傾向であったが、2020 年度は、液体系消火薬剤、PFOS 含有消火薬剤の処理量が減少し、粉末消火薬剤の再生量が増加した結果、再資源化率が 1%向上した。

リサイクル率の推移